



愛と復興

議会だより

只見

12月会議の内容

一般会計補正予算 1億3,500万円超を可決	2
12月会議で提案された議案	4
町民からの陳情・請願	5
第3回只見町議会報告会ほか	6
JR只見線早期全線復旧に向けて議会での活動は	7
常任委員会の活動報告	8
一般質問 (10人の議員が登壇)	9
聴かせてくんつえ 議員の突撃インタビュー	19

発行：福島県南会津郡只見町議会

編集：只見町議会広報特別委員会

〒968-0421 福島県南会津郡只見町大字只見字町下2591番地30

TEL.0241-82-5300 FAX.0241-82-5222

E-mail:gikai@town.tadami.lg.jp



今日は朝日保育所の「ダンゴさし」
じいちゃん、ばあちゃんと楽しかったね! (1月10日)

1億3,500万円超を可決 5,000万円超

黒谷地区水質悪化対策 約1,700万円

11月下旬から12月にかけて発生した黒谷地区簡易水道の水質悪化対応に係る補正予算の内容は、仮設設備の設置など改善対応に係る経費及び給水作業に係る人件費などとなっています。

なお、質疑として緊急時に各地区の水源の連結ができないかといった質問が出されましたが、町からは減圧の問題もあるが、検討したいとの回答がありました。

中ノ橋架け替えに伴う 水道管等の添架 約3,600万円

現在施工中の小林中ノ橋に、簡易水道管及び集落排水管路を添架する測量設計委託料・工事請負費となります。

八木沢地区河川改修に伴う 町有地売り払い収入 273万円

平成23年の新潟・福島豪雨の被災により、県では八木沢地区の只見川河川改修を計画しております。施工箇所内には町有地があり、八木沢集落の縁故特売地(*2)であることから、今回県にその町有地を売り払い、全額を八木沢集落に交付するものです。

小規模特別養護老人ホーム建設予定地の貸付

町では、小規模特別養護老人ホーム建設を長浜地区に予定しており、建設用地として取得した用地8,658㎡のうち現在工事が必要とされる6,000㎡について社会福祉法人南会津会へ10年間無償で貸付するものです。なお、建設面積が確定次第、残面積の貸付について改めて議会に再提案したいと説明がありました。

12月17日から20日までの4日間、12月会議が開かれ、町当局から一般会計補正予算や公の施設の指定管理者の指定等20議案の提案があり、審議しました。うち一般会計補正予算は、小林中ノ橋水道管等添架や黒谷地区水質悪化対策に要する経費の繰出金及び町有財産の売り払いに係る収入・交付金等1億3,500万円強の歳入歳出予算が提案、補正された予備費約5,000万円が増額される提案となりました。本会議における審議では、歳出補正予算の一部が付帯決議(*1)となり、予算執行するにあたって議会の承認が必要となる結果が出ております。ここでは、一般会計を含めた補正予算や町当局から提案された議案の審議状況について、いくつか取り上げ内容を要約してお伝えいたします。



ピックアップ 12月会議での質疑応答

付帯決議の付された案件

道の駅構想検討懇談委員会の視察研修費の補正予算計上について

問 当初予算にない研修になぜ年度末の今、行かなければならないのか？

答 当初予算で上げるべきであったが、委員会の流れの中で委員自ら視察に行きたいとの意向を示してきたものであり、気分が高まっている今、その意向を汲んで行かせてあげたい。

問 当初予算をとった後、なぜ半年間何も行動しなかったのか？

答 内部協議に時間を要してしまった。

問 この委員会は実行団体ではない。新たに実行力のある組織をつくり、そのメンバーで来年度予算にて計上した上で視察に行くべきではないか？

答 「どこに、どんな規模のものを作るのか？」といった議論にしないための委員会だ。事業者や農家などモノづくりに携わっている委員の方々であり、今後道の駅を作っていく上で多かれ少なかれ関わっていく方々だ。実行部隊を作っても今やっていることから入らなければならない。次年度以降も委員会を継続し、検討を進めていく。

問 道の駅プロジェクトの全体計画、スケジュールは。この事業をいつまで続け、いくら使う予定なのか？

答 プロジェクトの詳細を明確にお答えできる状況に今はない。現時点では全体計画があって進めているわけではなく、あくまでもその前段階だ。

問 実行部隊としての第三セクターを作るのは結局いつになるのか？

答 委員会を通して上がってきた報告をもとに、さらに現実的な計画を出していく。只見らしい道の駅のコネクトが出来上がったら、どんな人材を実行部隊としていくかの検討に入る。少なくとも2年はかかると見ている。

問 そもそも補正予算はどのような基準で許されるとの認識か？

答 本来であれば当初予算で計画性を持って上げていくべきものであるが、行政内部の見落としや、当初考えられなかったもので必要なものが後々出てくることも多々あり、その時々予算措置が出てくる案件もある。今回の視察研修は投資的経費であり、予算査定基準はすべて町の振興計画に基づいている。

意見・まとめ

計画性や手順が曖昧なまま事業を進めようとするから問題になる。事業が停滞するもとだ。不必要な労力・時間・経費を使わずに事業をスムーズかつスピーディーに進めていくためには、しっかりとした計画性が必要であり、住民や議会と綿密なコミュニケーションをとって理解を得ながら進めていくことが大切だ。今後は計画性のある予算の提出、委員会への説明、執行をお願いしたい。

〈用語の意味〉

(*1) **付帯決議**：議会の議決において、審議対象案件に付随的に付けられる意見のことをいう。付帯決議は、議決の条件とみなすことはできず、事実上の意見表明とし

て、町長にこれを尊重する政治的、道義的責務を負わせるにとどまり、法的な拘束力を有するものではない。

(*2) **縁故特売地**：市町村制施行前に集落等で所有していた土地などをいう。市町村制施行後、集落所有地の最小単位が市町村となったため、町有地となっている。

12月会議で提案された議案

今回の会議では、町当局及び議会から以下の議案が提出されました。
その内容について説明いたします。また、提出された議案の全てが、
12月会議の中で全会一致で可決されました。

条例制定・一部改正

- ◎議案第91号「只見町長期継続契約に関する条例」
事務機器等の複数年のリース契約を、長期継続契約として契約するための条例制定
- ◎議案第92号「諸収入金に対する延滞金徴収条例の一部を改正する条例」
延滞金の利率引き下げについて、地方税法の一部改正に伴い収入金に対する取り扱いを改正する内容
- ◎議案第93号「只見町若者定住促進住宅設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例」
入居基準及び控除額等について、町営住宅条例と整合性を図り、延滞金についても議案第92号と同様に改正する内容
- ◎議案第94号「只見町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例」
延滞金について、議案第92号と同様の取り扱いにする内容
- ◎議案第95号「只見町介護保険条例の一部を改正する条例」
延滞金の割合の特例に関する内容
- ◎議案第96号「只見町特定公共賃貸住宅条例の一部を改正する条例」
延滞金の割合の特例に関する内容

公の施設の指定管理及び財産管理

- ◎議案第97号「只見町公の施設における指定管理者の指定について」
青少年旅行村等の管理を(株)会津ただみ振興公社に指定する内容
- ◎議案第98号「只見町公の施設における指定管理者の指定について」
只見スキー場及び緑地管理センターの管理を(株)会津ただみ振興公社に指定する内容
- ◎議案第99号「只見町公の施設における指定管理者の指定について」
歳時記会館の管理を(株)会津ただみ振興公社に指定する内容
- ◎議案第100号「只見町公の施設における指定管理者の指定について」
河井継之助記念館の管理を(株)会津ただみ振興公社に指定する内容
- ◎議案第101号「只見町公の施設における指定管理者の指定について」
交流促進センター・深沢温泉等の管理を(株)季の郷湯らりに指定する内容
- ◎議案第102号「町有財産の貸付について」
小規模特別養護老人ホーム建設用地8,658㎡のうち6,000㎡を社会福祉法人南会津会へ無償で貸し付ける内容

補正予算

- ◎議案第103号「平成25年度只見町一般会計補正予算(第7号)」
1億3,577万8千円を追加する予算提案
- ◎議案第104号「平成25年度只見町国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)」
出産育児一時金の増額を見込み143万7千円を増額する予算提案
- ◎議案第105号「平成25年度只見町国民健康保険施設特別会計補正予算(第3号)」
375万2千円の減額補正として予算提案
- ◎議案第106号「平成25年度只見町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)」
事務費の整理として、4万4千円を増額する予算提案
- ◎議案第107号「平成25年度只見町介護保険事業特別会計補正予算(第3号)」
一般会計から事務費繰入し、歳出で償還金に充てる304万円追加の予算提案
- ◎議案第108号「平成25年度只見町介護老人保健施設特別会計補正予算(第2号)」
短期入所者及び通所リハビリ利用者は増えているが、施設介護サービス費収入の減を見込んで72万9千円を減額する予算提案
- ◎議案第109号「平成25年度只見町簡易水道特別会計補正予算(第2号)」
黒谷地区の水質問題対応分として、一般会計から繰り入れ対応した予算提案
- ◎議案第110号「平成25年度只見町集落排水事業特別会計補正予算(第2号)」
中ノ橋添架に係る設計委託料及び工事費として1,979万4千円追加する予算提案

意見書提案

- ◎JR只見線の早期全線復旧を求める意見書(案)
会津地域全域により、只見線の早期全線復旧を求めるため、只見町議会として国務大臣に意見書を提出する内容
- ◎東京電力福島第一原子力発電所における汚染水問題の早期解決を求める意見書(案)
国が責任をもって早急に万全な対策を実施することを求めるため、只見町議会として国務大臣に意見書を提出する内容
- ◎東京電力柏崎刈羽原子力発電所の再稼働に関する意見書(案)
原子力発電の再稼働をやめ、安全・安心なエネルギー社会への政策転換を求めるため、只見町議会として国務大臣に意見書を提出する内容

町民からの陳情・請願

あの陳情の行方と結果

①官行造林（坂田区字那光山）の伐採は行わないでください↓採択

採択の理由

伐採による当地域の農業、生活用水となつている水源枯渇、保水能力が失われることによる水害、災害の危険性の増大など、只見の自然環境の保護施策との矛盾点が挙げられており、伐採に反対することには理解できる。

今回、森林管理署の毎木調査の結果、負担額が少なく抑えられる上に自然環境の保護が保たれ、今後も地域住民が安心安全なる生活を送るためにも、伐採せず持分譲



坂田区那光山の現地視察

渡を受けるものが妥当であるものと判断しました。

②陳情書 町道小林上坪、橋場線の道路改良↓採択

採択の理由

集落内の道路に一部未改良の区間があり通所・通学・通勤に支障をきたしており、安心な通行のために改良を要望するものです。

本路線は、集落内の基幹道路として重要な役割を果たしており、未改良区間が通行に非常に危険な状態となっている。安心、安全な地域生活を送るためにも願意は適当なものと認めました。

③亀岡集会所新築に関する陳情書↓採択

採択の理由

集落の集会施設の老朽化が著しく、立地箇所も奥地で維持管理上も不便なため町営集会施設として移転新築を要望するものです。

少子高齢化によって集落の維持については、年々厳しさを増して

いるのが現状であります。避難所機能を兼ね備えた使い勝手の良い集会所は各地区に必要であり、安心安全な地域づくりのために、願意は適当なものと認めました。



亀岡地内の現地視察

④陳情書 亀岡多目的公園に公衆トイレ設置について↓不採択

不採択の理由

亀岡集落に設置されている多目的公園の利便性と環境衛生のため、町営の公衆トイレの整備を要望するものであります。

トイレは、既存施設内に完備されており管理方法・利用方法を検討し、陳情書にある集会所の新築に併せて公衆トイレを併設することも可能ではないかとの判断により不採択としました。

新たな陳情・請願

本会議において、新たに付託された請願・陳情は次の3件です。

①森林・林業・木材関連産業政策の推進に関する請願書↓経済文教常任委員会に付託（紹介議員…藤田力議員）

国に対し、森林・林業・木材関連産業政策のさらなる推進に向け必要な対策を講じるよう只見町森林組合及び森林労連から要望されました。

②八十里越古道及び明治新道に関する調査費計上の陳情書↓経済文教常任委員会に付託

八十里踏破の会及び八十里研究会から調査費計上について要望されました。

③会津地域への自衛隊駐屯地誘致に関する意見提出の陳情書↓総務厚生常任委員会に付託

会津地方自衛隊駐屯地誘致期成同盟会から、会津地域への駐屯地移駐について要望されました。

* * *

なお、11月会議において、次の請願が可決され、意見書を国に対し提出しました。

①TPP交渉に関する請願書↓採択

第3回只見町議会報告会開催

平成24年11月に初めて開催した議会報告会に続き、平成25年4月に第2回、そして第3回目は、10月22日から11月2日にかけて、3地区センターに加え、塩沢・小川・塩ノ岐集会所を併せ6会場で開催しました。



議会報告会（小川集会所）

前回までの反省から、議会における活動報告をできるだけ簡潔にし、質疑応答時間を十分確保し充実した報告会になるよう努めました。町民から出された質疑内容の主なものは次のとおりです。

- ① 町の特産品開発及びび産地造成
 - ② 副町長の選任
 - ③ JR只見線の早期復旧要望活動
 - ④ 滝ダム堆砂土砂の取り扱い
 - ⑤ 豪雨災害復興基金の利用法
 - ⑥ 計画的な地元木材の活用推進
 - ⑦ 町内集落補助事業の制度見直し
 - ⑧ 住民参加による町づくりの必要性
 - ⑨ 再生可能エネルギー政策の進捗状況
 - ⑩ 役場庁舎建設の基本設計プロポーザル等
- その他、様々な質疑応答がなされました。議会では、今後とも町民の声を真摯に受け止め「安心して暮らせる只見町」になるよう議会活動に努めていきます。

町村議会議員研修会に参加

県内全町村議会議員を対象とする研修会が平成25年10月29日、郡山市「ビッグパレットふくしま」で開催されました。再生可能エネルギーの可能性、現在の政治状況と課題について、2つの講演を聴講してきました。興味深い講演でしたので、要旨をお伝えします。



町村議会議員研修会にて
質問に立つ石橋委員

「省エネ、再生可能エネルギーを活用した地域再生・復興戦略」

早稲田大学環境総合研究センター上級研究員 岡田久典氏

〈講演要旨〉

- 世界各国の総エネルギー使用量における再生可能エネルギーの導入割合は北欧諸国等欧州が圧倒的にリード、日本はかなり後れを取っている→日本は技術立国の責務として先進国をリードしていくべき
- 再生可能エネルギーを活用して我が国の産業構造の見直しを図る→地域に雇用が生まれ、地域が豊かになる
- 地域における再生可能エネルギーの固定価格買取制度の意義→地方の経済構造を「外部依存型」から「自立自給型」に転換
- 「地域から人材、資金、資源が流出する中央集権型の社会構造」→「地域の自給力と創富力を高める地域主権型社会」への転換
- 地域資源活用モデル例として様々な自治体の事例を紹介
 - 域内循環促進モデル……地域資源の活用・事業化、住民の域内消費行動の活発化
 - 資源再発見モデル……住民が事業主体または参加、埋もれていた地域資源を発掘、その収益が地域に還元されることで地域経済の活性化
 - 交流促進モデル……域外との交流を促進、外部の投資力・消費力の活用
- 再生可能エネルギーの制約条件と計画/稼働までの期間の目安は太陽光1年、小水力2～3年、バイオマス3～4年
- 地元の事業者・市民が主体の自然エネルギー導入方法
- 大都市とエネルギーが豊かな地域との需給連携→「地域のエネルギーが地域の収益になる」「地域なくして都市はなし」
- 地域による、地域のためのエネルギーとは

「これからの日本の政治」

慶應義塾大学法学部教授 小林良彰氏

〈講演要旨〉

- 安倍政権の運営とアベノミクス、安倍内閣長期政権の鍵
- 海外から見た日本経済とこれからの世界経済の見通し
- 財政健全化への道筋
- 韓国型成長モデルの光と影
- 道州制の課題
- 世界各国の財政調整制度・方式
- 二元代表制

南会津地方行政研究会が発足

今年6月、南会津郡内の課題を共有し研究する「広域行政研究会」が郡議長会により発足しました。各町村議会より3名の委員がそれぞれ選出され活動を開始しています（只見町は、目黒仁也、小沼信孝、石橋明日香）。第1回研究会は、楡枝町村で、光回線を利用し

た医療・健康づくりについて学び、第2回は、只見町で推進しているユネスコエコパークが題材となりました。第3回は、下郷町の観光行政がテーマの予定で、今後各町村の課題研究の後、連携産業などを一つの目標に協議が進められる予定です。

「奥会津五町村議会議長懇談会」を開催



奥会津五町村議会議長懇談会

JR只見線早期全線

復旧を目指し、奥会津五町村議会の連携を強化すべく柳津町・三島町・金山町・昭和村・只見町の五議会議長による懇談会が、11月21日只見町において開催

されました。

懇談会の中で、JR只見線早期再開通に向けて五町村連携により取り組んでいくことなどが協議され、奥会津五町村議会議長連絡協議会が設置されました。

今後は、奥会津地域の振興を図るため調査研究を行なっていくこととなりました。

新潟県魚沼市との交流会を開催



南魚沼市との懇談会

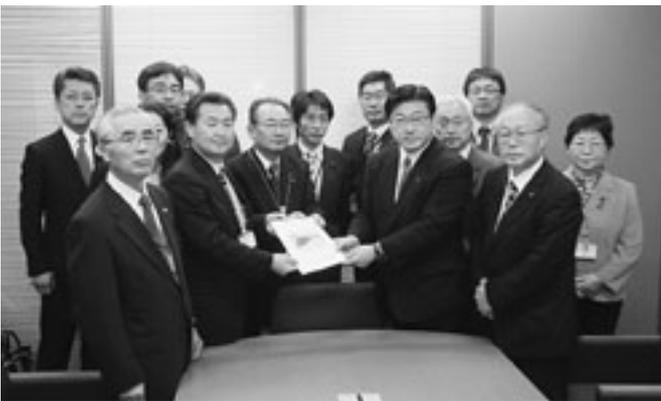
JR只見線早期全線復旧のため、沿線自治体である魚沼市と交流を深め相互に連携して取り組む目的として11月8日に交流会を開催しました。魚沼市からは議長を含め8名、只見町

議会からは議長を含め5名の議員が参加し、JR只見線早期全線復旧やお互いの議会活動などについて意見交換しております。今後も、相互交流を行ないながら只見線全線復旧に向けて連携して取り組みことを誓った交流会となりました。

JR只見線早期全線復旧に向けて議会での活動は



奥会津五町村議会に対し早期復旧への共同歩調を要望



只見町議会では、奥会津

五町村議会（柳津町・三島町・金山町・昭和村・只見町）の各議会を訪問し、関係省庁に意見書を提出することについて歩調をそろえ、共同活動として行っていくことを訴えました。今後、奥会津五町村議会間の連携を核にし、復旧の活動展開

を図ることを申し入れ合意しました。

また、12月会議において只見線活性化対策協議会（会長：会津坂下町長）から会津地方全体の地域振興に欠くことのできないものであり、地域の活力が失われるということから、国に對して、最大限の考慮をしてほしい等の意見書提出の依頼があり採択しています。

町当局に対しても、町民大会を開く位の意気込みを示すべくリーダーシップを取ることを提案しています。

JR只見線早期全線復旧への協力を訴える陳情書を菅家一郎衆議院議員に手渡す目黒町長と只見町議会議員（H25年1月15日）

常任委員会の活動報告

総務厚生常任委員会

JR只見線の早期全線開通に関する調査

—— 県の財政支援・全会津上げた取り組み

前号で、今後は流域市町村の歩調を合わせた取り組みで盛り上げる必要



柳津町議会での懇談

前号で、今後は流域市町村の歩調を合わせた取り組みで盛り上げる必要があるとしましたが、10月3日、金山町、三島町、柳津町、昭和村の議会をそれぞれ訪れ、早期全線復旧を求める意見書の採択を要請、歩調を合わせた今後の取り組みを確認しました。

また、福島県では、復旧費用85億円に必要な資金を積み立てる基金を9月の県議会で決め、県や沿線町村の財政支援や全国から寄付金を募り復旧費用や利用客増に向けた施策に活用されることとなりました。さらに会津各市町村でも自ら一定の費用負担をそれぞれ行うことが現在検討されており、その後新たな活動の展開となります。

経済文教常任委員会

① 地域産業の振興に関する現地調査

町内誘致企業の運営状況について、委員会では2社を対象とし現地調査を行ないました。11月7日には、会津工場を訪問し、企業活動を展開するうえで課題等について現地確認による調査を行いました。会津工場では、独自の特許製品を開発し営業活動を充実展開



町内企業の現地調査

していききたい旨説明がありました。

12月6日には、ヒロタテクノを視察調査。施設規模はまだ発展途上であるが、今後の受注増加に向けてカメラ製品のみならず新たな分野への進出も視野に入れている旨説明がありました。

担当委員会としては、誘致企業が今後も先進的な企業活動をされることにより、安定した雇用の確保や雇用促進が進むよう町政とも連携してバックアップしていきたいと考えております。

② 教育振興に関する調査を実施

只見町では、県立只見高校の振興対策に力を入



只見高校での視察調査

れていることから、11月7日、只見高校振興対策を考える上での課題や現状を把握するため、視察調査を行ないました。

只見高校の存続は、地域の重要な課題であることを念頭に置き、今後も県立高校としてやるべきこと、町として支援できること、連携してできることなどを関係機関で調整しながら教育振興対策に力を入れて取り組むべきと考えております。

大塚純一郎 議員

只見町が未来永劫成り立っていくための施策は？

——子宝祝金の拡大を検討する 町長

大塚議員 少子過疎高齢化の進む現状で、人口減にブレーキをかける施策はないのか。若者定住政策として、雇用対策、住宅対策、少子化対策、医療対策、教育対策などの

効果実績を問う。

町長 男女の出会いの場対策として、独身者の交流イベントを平成11年から実施している。約700人の参加があり、24組以上の婚姻が成立し



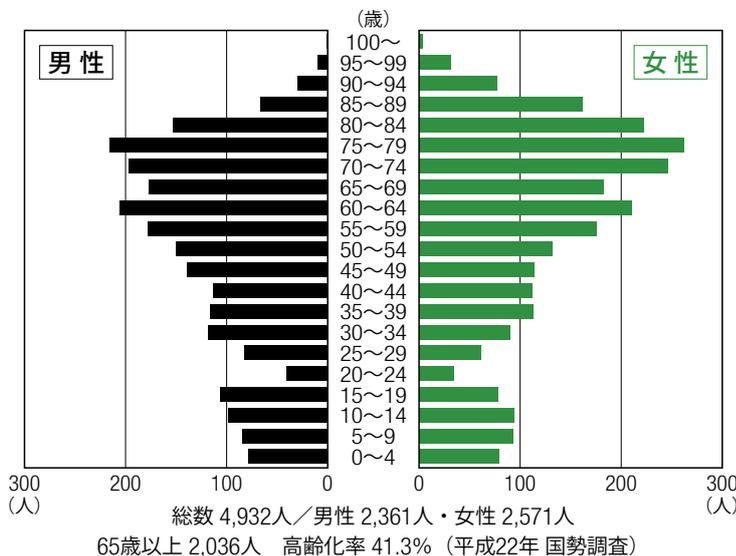
ている。雇用対策として、県の「ふくしま産業立地復興企業立地補助金」を活用した町内2企業の雇用拡大が図られている。また、「6次産業起業家応援事業補助金」を立ち上げ、農産物を活用したビジネス創出の支援を行っている。

大塚議員 経済的に安定性のある職場、雇用の創出が必要だ。若者が魅力



次代を担う子どもたち
めいわ子ども教室クリスマス (H25年12月16日)

只見町の年齢別人口(5歳区切り)



を感じるビジョン、将来を託せる姿を示せ。
町長 実態を踏まえながら、一歩ずつ計画的に事業を実施している。
大塚議員 子どもは地域の宝、町の宝だ。地域と町が一緒になって育てることが必要だ。「子宝祝金」は第一子で10万円、二子で30万円、三子で50万円、四子からは100万円を贈るといったインパクトのある政策展開が必要だ。また、町内には若者が入れる住宅がない。早急に実態に合った施策が必要ではないか。

町長 民間資本の有効活用や、住宅用地を提供できる環境を整えていきたい。

小沼信孝議員

只見線の利用促進対策は？

—— 関係団体と連携し

取り組んでいく 町長



小沼議員 町独自の利用促進対策をどのように考えるのか。

町長 只見駅周辺の町づくりを考え、要害山、三石神社を含めて考えている、また蒲生、塩沢駅

周辺には素晴らしい観光資源が眠っている。磨きをかけ、整備して関係集落に支援をしていきたい。支援の方法については、これから検討していきたい。

小沼議員 JR只見線全線復旧に対して難色を示しているJRに対してどのような利用促進対策を掲げて重い腰を上げてもらうのか。復旧と利用促進を並行して取り組んでいく考えなのか。

町長 関係機関と連携してやっていきたい。従来から続けてきた対策はこれからも継続し、これからは只見の自然を観光の目玉とし開発し進めていきたい。

舎を含めた商業複合施設の要望書が提出されたと思うが、やはりJRに全線開通に向ける熱い思いを受け止めてもらうためにも町が駅舎を作り、復旧に対する思いを伝えてはどうか。

町長 只見町土地利用計画のワークショップで地元の方々に行って頂き、只見駅周辺の役場本庁舎の改築と併せ只見駅前のまちづくりを含め検討していきたい。

対策は解ったが、聞くところによると11月に新潟、福島、全会津、魚沼を含めた復興推進会議を発足されたようだが、やはり沿線市町村と連携した会津若松から小出までを含めたなかで、復旧に難色を示しているJRがそれならやろうと思えるような魅力ある取り組みを検討して頂きたい。



人気の高かったSL会津只見号の復活は▶



◀閉ざされて久しい会津蒲生駅

鈴木 征議員

役場庁舎、開発センターの 整備計画は？

——当初予算で提案し、ご審議いただく町長



鈴木議員 役場新庁舎建設について、以前議会で説明された基本構想を受けて、基本設計が進んでいると思うが、基本設計の内容が見えてこない。また、26年度以降の取り組み内容が全然見えない。

町民の理解を得られるような見える政策展開をお願いしたいが、町長の考えをお聞きしたい。

町長 新庁舎については、今年度中に基本設計が出来上がり、それから実施設計に取り組む計画である。方向性は確定しているのですが、町民の意見をお聞きし、まとめていきたい。着々と進めていく。

鈴木議員 役場庁舎については、基本設計ができ次第、議会にいち早く説

明していただきたいと考えるかがか。

総務企画課長 現在作成中の基本設計を進めていく段階で、議会からもご意見をいただきながら最終的に取りまとめたいて考えている。時期的には、来年の3月議会で実施設計予算を盛り込んでいきたいと考えているところである。

鈴木議員 只見総合開発センターを取り壊して、新たに建設をされる只見地区センターの建設構想

は、今までの開発センター規模を想定されているのか伺いたい。

総務企画課長 只見総合開発センターについては、建設当時に冠婚葬祭など様々なイベントを実施する目的とした経過がある。現在では、コンベンションホール機能を持った交

流促進センターがあるの
で、そこで公式行事等実
施している。そのことか
ら、新たに建設するもの
は地域住民が利用できる
地区センターとして整備
をしていきたい。
※他に、JR只見線復旧基
金について、質問があ
りました。



只見地区センター建設基本構想検討会（H25年12月5日）

藤田 力 議員

過疎化のなか、集落の支援強化を

—— 不断の見直しを検討する 町長



藤田議員 町の人口が急激に減少し活力が落ちている。特に小規模な集落は運営に苦労している。町は今こそ、集落の区長や組頭の負担を軽くするため、集落の支援を強化すべきだ。前の議会にも

提案したが「町職員の集落担当制」を取り入れて集落の運営を手伝うべきと考える。以前、研修した神奈川県開成町の「自治活動応援課」を参考にし、集落に元気をと考えるがどうか。

町長 組織機構の見直しを今後検討するなかで、集落担当制に関わらず効果的な支援の在り方を目指していく。

藤田議員 集落の大堀払いなど共同作業で人手が

足りず毎回、リースの重機を頼んでいる。支援できないか？

町長 行政として新たな支援策が必要と考え、現在検討している。

空き家条例の提案時期は？

—— 関係条例を

早期に提案したい 町長

藤田議員 農業土木の町補助制度は、集落負担が集落の大小で違い不公平

だ。また、集落集会所の建設についても同じである。

町長 集落状況に変化のあることを考え、不断の見直しを検討して行く必要があると考える。



重機により行われている只見用水の大堀払い（只見地区）

藤田議員 前議会にも提案した。私が一般質問で取り上げた翌日、南会津町の「空き家条例」がマスコミで紹介された。防災・防犯のためにもいつ、只見は条例化するのか。

町長 緊急の課題と認識している。空き家条例の制定は今年度中に検討したいと考えている。

藤田議員 定住等促進団地の着工状況と次年度以降の計画について伺う。当該地は館ノ川でなく大字只見字堂間下だ。また、当該地を取得した只見牧野組合との間に「覚え書」が取り交わされているのを確認しているか。

町長 測量を実施し基本計画を策定中である。予定していた整地・流路工は未実施。今後は宅地造成の詳細設計を策定していく。覚え書きについては確認し対処する。

佐藤孝義議員

民具展示施設建設の進め方は？

——全町民の理解を求め施設整備を進める 町長

佐藤議員 今後の年度別

スケジュールと予算額及び予算処置について問う。

町長 適正な収蔵に加え展示、活用にも重点を置き会津只見考古館と一体的な活用を検討するため検討委員会で幅広い意見をいただき基本構想の策定に取り組んでいる。従

って事業費、予算処置等

については今後検討する。施設整備年次は平成28年

度以降に予定しているが、役場本庁舎建設等の公共施設整備計画との調整に

より早期にお示ししたい。

佐藤議員 ユネスコエコパークとの関連性に重要な資源と思うが見解を伺

いたい。

町長 この理念は自然と人間の共生であり、祖先が自然と共生しながら

生き抜いてきた証をまさに証明することである。

佐藤議員 集落も明和自治振興会も地域づくりの

拠点にしたいと考えているが町の見解を伺いたい。

また建設後の指定管理等の考えはあるのか。

町長 検討委員

会の中でも多くの意見が出され、この視点も

含め、指定管理等の考え方も今後検討していく。

また全町民を対象に説明会を開催し、理解を求

め、意見、要望を聞きながら有意義な施設整備を進めたい。

民具収蔵庫に保管されている民具 (黒谷)



増加する空き家対策は？

——早期の条例提案を検討する 町長

佐藤議員 安全面、景観

面から住民からの要望が大変多い案件である。空家の適正な管理について条例化できないか。

町長 廃屋、空き家は

全国的に増加しており、

景観のみならず防犯や環境等の問題も多くなっている。当町は特に、冬期間は屋根雪の落下による歩行者、通行車両等へ被

害が及ぶ危険があり、所

有者には適正な管理を依頼している。町外所有者には、手紙や写真で危険回避のお願いをしながら、看板等の設置で注意喚起

をしている。使用可能な

家屋は、地域の人や長期短期に只見町を訪れる人

に有効活用してもらい、地域づくりや活性化に役

立てていただきたい。

「空き家の適正な管理」の

条例については、所有者の責務と、町の対策を取りまとめ、なるべく早期に条例提案できるように検討する。

新國秀一議員

目黒町政が目指す今後の 取り組みは？

——残された3年間で
全力で努めたい
町長



新國議員 目黒町政の5年間の町長自身の評価について、町長はさまざまな政策を町民に示し、町民もそれに期待し、町の舵取りを再び任せている。しかし、町長が何をやり

たいのか見えない。このことについて見解を問う。
町長 5年間の中には、水害等もあり復興にとられてしまったこともあるが、残り3年間で勝負とし、全力で努めたい。

新國議員 少子高齢化、子育て支援、交流人口拡大、住宅政策、雇用の場の確保等さまざまな課題について、しっかりとした予算を取り、進めていただきたい。次にJR只見線第八鉄橋の復旧についてであるが、滝ダムから五礼橋までの間は電発の補償区間ではないか。町として、このことについてどう対処するのか。
町長 豪雨時に第八鉄橋が冠水した原因は、設

災害復興基金の現況と 今後の予定は？

——円滑な執行と
防災設備の強化を図る
町長

計洪水量を超える流量があったためである。この

ような状況を踏まえて電発に対しては、できる限

りの支援をお願いして参りたいと考えている。

新國議員 災害復興基金の現在の状況と今後の予定について問う。

新國議員 産業支援について、なかなか方針が示されないが。

※他に、日本一のエゴマの里構想について質問がありました。

町長 本年5月から住宅等に被害があった方々を対象として、県の基準により生活再建支援金として行っている。現在の執行状況は申請106件、金額は2億1632万円である。引き続き、本基金の円滑な執行に努めるとともに、防災用無線LANネットワークの構築を進めてまいりたいと考えている。

町長 産業振興分野への支援についても議会担当委員等々の意見をいただきながら、詳細が整い次第提案したいと考えている。



石橋明日香議員

JRの株主になる考えは？

——柔軟な発想で対応したい 町長



石橋議員 JR東日本はたとえ復旧費用の85億円が手当てされたとしても再開通する気がないと思われるが、町として今後どのような取り組みや働きかけをしていくのか？
今回沿線市町村で積み立てることになった基金以外の策について、より現

实的で有効な方策や計画を具体的に示してほしい。
町長 議員各位及び県並びに沿線自治体と力を合わせて今後示してまいりたい。
石橋議員 JR東日本は「赤字路線を放っておくと株主の手前説明がつかない」と言って復旧に消極

的だ。では、町自体が株主になってみたらどうか？ 株主として毎回株主総会に出て、たとえば赤字でもローカル線がいかに日本の重要なインフラなのかを訴え続ける。運用されずに眠っている多額の基金を金融機関にた

S/Lが走る叶津鉄橋



だ放置しておくより余程有効活用になる。仮に10億円分だと、株価は現在80000円前後なので125000株程購入できる。年間配当が120円/株なので、年間配当収入は1500万円、配当利回りは1・43%だ。

この配当金を使って、JR東日本に負担させている当町分の固定資産税500万円を免除し、残りの1000万円を使って観光誘客のための取り組み費用の財源にもできる。株主になることで、町としても意識の向上が

図られ、観光振興にも熱が入るようになる。まさに運命共同体になる覚悟が必要では？
町長 今まで考えたことのない提案だ。発想の広さと面白さを受け止めながら、もう少し勉強させていだけ。

雪国鉄道博物館を提案する

——それはいい、ぜひ検討したい 町長

石橋議員 JRにアピールする観光振興対策として、3つ提案がある。①常時S/Lを走らせる。②全国のJR唯一の「タブレット式閉塞機使用路線」・「腕木信号機使用路線」として復旧させることでオンリーワンの希少ローカル線にする。③駅舎を町の予算でより趣あるものにし、さらに全国

でまだどこにもない「雪国鉄道博物館」(除雪車を主体とした豪雪地帯の鉄道、会津地方を走っていた鉄道に特化した博物館)を駅前を作る。
町長 雪国鉄道博物館は、私もあればいいと思う。そのためにもどのような取り組みが必要か調査していき、実現できるよう前向きに検討したい。

※他に、電線・電柱の地中化について質問しました。

タブレット式閉塞機：線路を一定区間(閉塞区間)に区切り、1つの閉塞区間には同時に2つ以上の列車が入らない(入れない)ようにすることで、衝突を防ぐために使用される信号保安システムの一つで、タブレットは通行票の役割をするもの。JRの旅客営業路線では2012年の只見線を最後に使用路線はなくなった。

腕木信号機：棒状の腕木の動作で発車・停止を知らせる信号機。信号を操作する人員が必要なことや安全保安上の観点から次々と廃止され、2005年八戸線を最後にJR線上から消滅した。

酒井 右一 議員

只見町の優先課題は何か？

—— 総力を結集し振興計画を策定していく **町長**



酒井議員 国立社会保障人口問題研究所によると、西暦2015年、只見町は高齢化が進み非労働人口が労働人口を上回る。税収が落ち財源が収縮するなかで福祉や扶助費が大きくなる。政策の優先順序を明確にすべきでないか。

町長 数字のみで見ればきではない。今後の町振興計画等で明らかにしたい。
酒井議員 全国1742市町村中、金山町の高齢化率は第2位である。昭和、三島、西会津、只見

と続く。国指導の「振興計画」では先が見えていく。町は独自の大胆な施策が必要不可欠だ。まずは、ここに暮らす人々の

行く末の安定を模索すべきではないか。
町長 ソフト面の施策も必要だがハード面も必要。計画している建物も

作らなければならない。
酒井議員 被災した林道は激甚災害から外れようとしている。普通災害となれば大幅に費用がかさむ。地区センターや民具収蔵・展示施設、町民文化センターや役場庁舎の建設も計画されている。早晩、消費税は8%を超す。財政見通しは甘くない。また、役場庁舎建設にあたっては補助金・交付金・優良起債は一切な

いというが事実か。
総務企画課長 財源は、基金を念頭に検討したい。
酒井議員 今は災害復旧の最中、予算の「ふくらみ」は実態ではない。少子高齢化が進む中、今後の町勢を見据えれば子々孫々に負担を残すべきではない。町政の主役を間違えてはならないがどうか。
町長 姿勢は同じ思い

第八鉄橋はダム災害ではないのか？

—— 設計洪水量を超えた災害だ **町長**

酒井議員 只見線は滝ダムの堆砂により被災したのではないか。町長の見解はどうか。第八鉄橋が架かる区域は電線の補償した区間に含まれている。

町長 設計洪水量を超えた災害だという認識でいる。
酒井議員 町の災害調査報告書に「ダム決壊の恐れがあるためダム放流し

た」と書いてある。それでもダム操作による被災と考えないか？
町長 あなたの期待に応えるようなことはない。



現在の只見線第八鉄橋

山岸フミ子議員

学校給食の負担軽減策は？

—— 今後支援について検討する

町長

山岸議員 春には高校無償化が廃止され、消費税もアップ。生活を圧迫することは避けられない。給食費無料化になったら、本当に助かるとの声がある。他の町村から羨まれるような若者定住・少子化対策が必要だと考えるがどうか。

と「只見愛」を持った地域人材の育成を地産地消による食育でつなげる。子育て支援・少子化対策

として給食費支援を検討する。
山岸議員 将来的には完全無料化を求める。

教育長 経済的・財政的状況を踏まえ、実施時期の検討をしていく。

生活保護、児童手当について 町の認識は？

—— 親切丁寧な対応を行なう

町長



町長 地域農業の振興

山岸議員 生活保護は命の最終ラインと呼ばれ、生存権を守る大切な制度だ。全国各地で生活保護を申請した人の親族に対して、親族の扶養を「優先的に受けることが前提」との文書を送付して

いる自治体があるが、只見町においてはどうか。
福祉班長 申請者の親族に対する調査確認は、福祉事務所で行っている。
山岸議員 厚生労働省は改善を図るよう全国自治体に送付している。年金

の減額、医療費負担増、介護保険改定、消費税のアップなど生活弱者の生活水準は悪化が予想される。生活保護の改定により、一人一人の生存権を狭めるものとなる。親身になった対応をお願いしたい。

福祉班長 親切丁寧な対応を行なっていく。

山岸議員 ある自治体で、特別児童扶養手当でも入金されれば差し押さえができるので、滞納額の半額を一括納入するよう迫られたという事例を聞くが、只見町ではこのことをどう捉えているか。

町民生活課長 児童手当・児童扶養手当・特別児童扶養手当については、それぞれの法律により、手当の支給を受ける権利は差し押さえすることができず、

受給権が保護されている。差し押さえ禁止財産である手当が預金口座に振り込まれた後については、その性格は預金に転化するものであるため、差し押さえは禁じられていない。

山岸議員 もし滞納があった場合、その人の事情によりきめ細かな対応をしていたらきたい。

町民生活課長 滞納者の生活実態等、具体的な実情を踏まえて丁寧な納税相談を行なっていく。



元気に遊ぶ子どもたち

中野大徳議員

「八十里越古道」の整備計画は？

——まずは基礎調査を検討したい **町長**



中野議員 八十里越古道

周辺は、只見町の自然や歴史からみても重要な意味を持つ地域だと考えるが、整備する考えはあるか？

町長 越後と会津を結ぶ八十里越古道の歴史は

古く、多くのモノや人、

文化の交流を支え、本町の発展にも大きく貢献してきた。歴史的価値は平成8年に文化庁選定の「歴史の道百選」に選定されるなど、全国的にも認められた価値の高い古

中野議員 八十里越古道

道である。価値をより高め、活用していくためにも、学術調査、研究する必要があると認識している。観光資源としても高い価値を有している。エコパークの町として付加価値を高める事業展開や、広域観光交流など様々な展開が見込まれる。

のルートは、平成4年に新聞報道もされルートは確定している。エコパーク認定も間近であり理念も一致すると考える。歴史的価値のある古道を整

備し、文献と共に後世に保護、活用していく必要があると考える。只見町の史跡に指定する考えはあるか？

教育長 歴史的価値は、

充分認識しており学術調査等実施のうえ検討したい。

中野議員 蒲生岳、カタ

クリ、塩沢の河井継之助記念館、「馬尾の滝」等、集落の魅力を磨きあげるような支援をしたい、観光資源として定着させたい、と先般答弁している。只見町には、材料はたく



八十里(木ノ根)峠の道標

さんあると考える。エコパーク認定、悲願のルート289促進運動等、今こそ整備すべき時期だと考える。

町長 歴史的価値、観

光資源的価値、八十里越古道を最大限に引き出すための方策として、整備、保護、活用に向け、まずは踏査、刈り払いなど基礎調査の実施をする。



歴史の道「八十里越古道」

かん け たつろう

菅家達朗さん（黒谷）

現在黒谷区長、朝日助っ人クラブ会員として日々忙しく活躍されています。お忙しい中、只見町議会、議会報告会、地区からの陳情請願についてお聞きしました。

問 議会についてどんなふうに思っている？

菅家 議会も町民のために一生懸命活動していると思うのでもう少し町民も、議会、町政に関心を持ってもらいたいですね。

問 議会報告会はなじよだや？

菅家 議会報告会も昨年からは始められたようだが、今回は各地区を含め6か所でやられたと聞きました。ただ報告するだけでなく各集落町民から出た声を、町民の代表として町政に届けてもらいたい。

問 黒谷区からもいくつか陳情等が上がっているが対応が遅いのは、とのお考えはねいかや？

菅家 議会で採択にしてもらうことで、今すぐ実現できなくても町民の代表の議会が採択したことで将来の町づくりに反映されるものと思っています。採択されたということが重要だと思いますね。



問 最後に何か一言あったら聴かせてください。

菅家 議員も公約を掲げて出たわけだから。その時だけでなく当局とよく話し合い協議して町民のためになるようにやって頂きたい。



議員の突撃インタビュー

町政や議会等に対してどのように考えているのかを町民の方々に議会広報特別委員会の委員が直接お伺いして、さまざまな想いを聴かせていただきました。

町民のみなさんの意見を

聴かせてくんつえ!

わたなべえつこ

渡部悦子さん（小川）

40年間保育士として勤務され、退職後には朝日婦人会長を歴任、現在では民生児童委員として3期9年間務められるなど、地域づくりに積極的に参加されています。

- ① 健全者と障害のある方が隔たりなく活動できる地域のふれあいが必要と考えていることから、福祉政策の充実を望む。
- ② 若者定住者を獲得するために、共働きのできる環境整備と子育て支援の充実を望む。

- ③ 只見高校振興対策として、当町での学習を熱望されるような生徒募集活動を期待する。
- ④ ユネスコエコパーク推進に関して、住民の生活範囲に関わる部分においては地域の中に入り、充分説明する必要がある。自然と共生できるまちづくり、里山整備を含め、行政と町民が一緒に考えることが重要。

以上の点などを通じて、安心して暮らせる地域づくり・まちづくりを町と議会が一体となって進めていってほしいと話されました。



議会の主な動き 平成25年10月1日～12月31日

- 10月4日 会津総合開発協議会県要望活動
- 10月9日 議会10月会議
- 10月13日 只見町消防団秋季検閲式
- 10月15日 八十里越交流懇談会
- 10月16日 百歳高齢者知事賀寿贈呈式
- 10月21日 会津総合開発協議会設立50周年記念式典(会津若松市)
- 10月22日～11月2日 議会報告会
- 10月22日 只見町表彰式
- 10月23日 しあわせ金婚夫婦表彰式
- 10月24日 新消防体制実施計画議員検討委員会
- 10月29日 町村議会議員研修会(郡山市)
- 11月5日 ふくしま駅伝選手団壮行会
- 11月8日 魚沼市議会との懇談会
只見・金山・昭和县道改良促進期成同盟会県要望
- 11月12日 全員協議会、南会津地方議会行政研究会
- 11月14日 町村議会議長全国大会(東京都)
- 11月15日 全国過疎地域自立促進連盟定期総会(東京都)
- 11月16日 まるごと南会津観光PRフェア開会式及び交流会(東京都)
- 11月19日 議会11月会議
- 11月21日 奥会津五町村議会議長懇談会
- 11月22日 会津総合開発協議会南会津地方部会県要望
- 11月27日 国道401号改良整備促進期成同盟会県要望
- 11月28日 県町村議会議長会正副会長会議(福島市)
平成25年度只見町戦没者慰霊祭
- 12月13日 地域人材育成ダイヤモンドプラン事業開講式
- 12月17日 議会12月会議(～20日)
- 12月25日 会津総合開発協議会臨時総会(会津若松市)
- 12月26日 南会津地方広域市町村圏組合議会臨時会
同全員協議会

〈その他〉

委員会開催23回(各常任委員会11回、議会広報特別委員会7回、議会運営委員会5回)
全員協議会2回、本会議6回

今回の議会だよりはなじょだったかない?

あなたの意見が議会を変える

議会活動や議会だより等に関してご意見のある方は、電話・手紙・メール(gikai@town.tadami.lg.jp)でお寄せください。直接意見を伝えたいという方は、議員と事務局が伺いますので、ご連絡ください。

※「なじょだったかない?」……只見町の方言で「どうでしたか?」という意味。

議会議事録がホームページで見られます

パソコンやスマートフォンから只見町議会のホームページに入ってくださいと議会本会議の議事録を見ることができます。議事録のデータ作成のため議会終了後よりお時間をいただいておりますが、随時更新しておりますのでご覧ください。

<http://www.tadami.gr.jp/gikai/gikaitop.html>

編集後記

前回の議会だよりから、視察研修の成果としての「議会だより作成マニュアル」に基づいた編集を始めました。おかげで早期発行が可能となりましたが、まだ慣れないプロセスがゆえに、編集会議に尋常でない時間と日数を費やしてしまいました。し

かし、今回の議会だよりでは、このプロセスもかなり軌道に乗り、どのようにスケジュールを組み、役割分担をし、編集会議をしていけばいいか、いい写真とほどのようなものか、どうしたら簡潔でわかりやすい内容になるか、委員全員がコツをつかんできて、かなり効率の良いスピードで編集となってきました。

「たかが議会だより、されど議会だより」内容についてまだまだ不満な点があるかとは思いますが、町民の皆様にも少くも議会のことを理解していただけるように、一步一步改善していきながら、より良い議会だよりを目指して委員全員一丸となって取り組んで参ります。

(石橋明日香委員)

議会広報特別委員会

委員	委員長	副委員長	委員
山岸フミ子	石橋明日香	大塚純一郎	中野大徳
			目黒仁也
			小沼信孝